

## 2025年度 中外日報社宗教文化講座

# いのちを育てる智慧に学ぶ

ネット時代を生きるために

中外日報社は4月から「宗教文化講座」を計4回開講します。  
総合テーマは「いのちを育てる智慧に学ぶ～ネット時代を生きるために～」です。  
本講座は中外日報創刊115年を記念した文化事業として2011年にスタートし、  
地域の生涯学習の振興寄与にも努め、15年目を迎えます。  
今年は、滋賀・長野・兵庫・京都に所在する古刹名刹の管長・住職及び重役を  
務められている僧侶を講師に招き、各人がテーマに沿って分かりやすく語ります。  
「ネット時代」だからこそ、バーチャルではなく直接的な体験を重視し、  
ブツダや各祖師たちの教えを通じて、ネット時代を生き抜く智慧、  
「いのちを育てる智慧」を学ぶ機会とします。

第1回 4.11 (金)

しんらん交流館・大谷ホール(京都市下京区)

### 現代における巡礼の意義

～西国三十三所観音霊場を歩む～

「日本人は無宗教になりつつある」といわれる昨今ですが、それは本当でしょうか。様々な価値観が交錯し、インターネットの海を皆が渡るようになった現代社会においても、信仰の力は決して失われていないはず。実際にお寺に参拝し、巡礼することの楽しさとその功德を、お伝えできれば幸いです。



東寺真言宗大本山石山寺  
第53世座主

鷲尾 龍華氏

第2回 5.23 (金)

しんらん交流館・大谷ホール(京都市下京区)

### 原点を見る

仏教伝来よりもはるか昔から、日本人は独特の宗教心を持っていました。これは、太陽・月・山・川・草木・石などに超自然的な力があると信じる畏敬の念から生まれた、自然への崇敬心と言えます。近代科学が発達、インターネットやAIが登場して、人間は科学力を過信するようになり、自然界を克服したかのように思っています。しかし人間は自然を従えてはおらず、自然界は人間を屈服させてもいません。今後、近代科学と宗教はどのように重なっていくのかを「原点」から見直します。



信濃善光寺大勧進  
第104世 貫主

栢木 寛照氏

第3回 9.19 (金)

京都テルサ・東館2階セミナー室(京都市南区)

### しあわせ眼鏡

～仏教という人生の道しるべ～

日本では、仏教と関わるのはお葬式か法事の時だけで、亡くなった後の為の教えだと思われている方が多いのではないのでしょうか。しかし、お釈迦様や弘法大師様が説かれた教えは、まさに「今、この苦しみ多き人生を如何に生きていくか」の智慧が説かれています。それは迷いなく生きるための人生の道標です。皆様の人生がより心豊かになりますよう、心を込めてお話いたします。



真言宗須磨寺派  
大本山須磨寺寺務長

小池 陽人氏

第4回 10.3 (金)

大本山妙心寺微妙殿(京都市右京区)

### 寺の未来

寺院離れ、宗教離れが言われる昨今、その問題の根本は何処にあるのか、仏教の教義そのものから離れていっているのか、我々が若い人たちにもしっかりと教義を伝えられているのか、今宗教者がなすべきは何なのか、宗教の役割とは何なのか、一修行者に振り返ってみたいと思います。



臨済宗妙心寺派  
管長

山川 宗玄氏

- 全講座とも  
午後1時半開講  
(開場は12時半)～午後3時
- 受講料は1講座千円(税込)

主催 中外日報社

協賛 野村證券(株)、真言宗総本山東寺、京都銀行、京都信用金庫、法藏館、(株)ITP  
後援 京都府、京都市、京都新聞、朝日新聞京都総局、産経新聞社京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局



# 2025年度 中外日報「宗教文化講座」

先着順に受け付け、各講座とも定員になり次第締め切ります

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、お申し込みください。一度で、1講座～4講座の複数のお申し込みができます。どの講座を受講されるか明記してください(例えば、第1回と第3回、全4回など)。お申し込みをいただいた方には、受講料の払込取扱票(郵便局専用口座)をお送りします。払込取扱票の通信欄にも受講講座を明記してください。お振込の確認後、講座・講演会場を記載した受講票(ハガキ)をお送りします。受講料は1講座千円(税込)です。

※払込票兼受領証、受講票をもって領収証に代えさせていただきます。お振り込み後の返金は、原則としてお受けできませんのでご了承ください。

宛先 〒601-8004  
京都市南区東九条東山王町9番地  
中外日報社  
営業企画部(宗教文化講座事務局)  
FAX 075-682-1722(下記に申込票)  
Eメール sbk@chugainippoh.co.jp

### ●参加までの流れ●

ハガキ、FAX、メールで申込

事務局が受付

(各講座とも定員になり次第締め切ります)

払込取扱票を事務局より送付

お振込の確認後、受講票(ハガキ)をお送りします

当日、受講票を提出して受付・入場  
(受講票は当日まで紛失しないようにご注意ください)

### 各講座の定員、アクセス

第1回 **150人** しんらん交流館・大谷ホール  
(JR京都駅中央口、徒歩12分)

第2回 **150人** しんらん交流館・大谷ホール  
(JR京都駅中央口、徒歩12分)

第3回 **168人** 京都テルサ・東館2階セミナー室  
(地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)

第4回 **160人** 大本山妙心寺 微妙殿  
(JR花園駅、徒歩約12分)

お問い合わせ先 (電話でのお申し込みは受け付けておりません)

中外日報社 営業企画部  
(宗教文化講座事務局)

**FAX 075-682-1722**

電話:075-682-1625/075-671-4800

### FAX申込票(ご記入後、このまま送信していただけます)

ご希望講座

ご氏名 ふりがな

ご住所 〒

お電話番号